

2025年6月4日

各位

会社名 株式会社BTM
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 田口 雅教
(コード番号: 5247 東証グロース市場)
問合せ責任者 取締役兼 CFO 懸川 高幸

2025年3月期 通期決算 質疑応答集

この質疑応答集は、2025年5月15日（木）に発表した2025年3月期通期決算に関して、当社で想定していました質問並びに発表以降に株主・投資家などの方々からいただいたお問合せ内容をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

質問 1

25年3月期は売上高が前期比+22.8%の増収でした。継続的な成長を達成できている背景や理由について、どのように考えていますか。

回答 1

DXニーズの継続的な拡大に加え、25年3月期は引き続き営業人員の採用を進めたことで、案件の受注機会が増加しました。
また、案件のマッチング率に影響する「アカウント数」が計画を大きく上回るペースで増加したことも、新規案件の受注に繋がっています。
これまでに行ってきた人材投資をはじめとする成長投資の効果が表れているものと考えており、引き続き積極的な成長投資を実施しつつ、事業拡大を目指してまいります。

2025年3月期 決算概要



P/Lサマリー

売上高は前期比+22.8%の50.9億円と過去最高を更新

引き続き営業人員を増員したことで、受注増加による売上拡大も継続

4Qにおいて成長投資としてM&Aを実施したことから、営業利益は前期比△39.9%

(単位:百万円)	24/3期(単体)		25/3期(連結)		前期比	(参考) 25/5期 通期予想(修正)
	額	率	額	率		
売上高	4,154	-	5,099	-	+22.8%	5,046
売上総利益	672	16.2%	771	15.1%	+14.7%	-
販売費及び一般管理費	520	12.5%	679	13.3%	+30.7%	-
営業利益	152	3.7%	91	1.8%	△39.9%	97
経常利益	150	3.6%	86	1.7%	△42.3%	92
親会社株主に帰属する 当期純利益	110	2.7%	62	1.2%	△43.5%	66
1株当たり 当期純利益(円)	39.30	-	22.14	-	△43.7%	23.48

※当社は、2025年3月期第4四半期より連結決算に移行しており、2025年3月期は連結数値、2024年3月期は単体数値を記載しております。
※当社は、2025年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の諸額に当該株式分割が反映したと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。
Copyright 2025 BTM, Inc. All Rights Reserved.

6

質問 2

26年 3 月期の予想について、売上高は引き続き高い成長率を維持する見込みですが、利益については25年 3 月期とほぼ同水準にとどまります。理由について教えてください。

回答 2

26年 3 月期は、堅調なDXニーズや営業人員およびアカウント数の増加により、増収を計画しています。売上高の増加に伴い粗利は増加する見込みですが、26年 3 月期は引き続き積極的な成長投資を実施する計画であることから、営業利益以下の各段階利益においては大きな増加を見込んでおりません。
増収によって増加した分の利益については、重点的に成長投資へ投下することで、さらなる業容拡大を目指してまいります。

2026年3月期 業績予想

BTM

2026年3月期 業績予想

売上高は2025年3月期に引き続き、前期比+22.4%の大幅増収を計画

増収による利益増加分を活用した積極的な人材投資とM&Aで成長を加速し、さらなる売上増加・業容拡大へ

(単位:百万円)	25/3期(連結) 額	実績 率	26/3期(連結) 額	予想 率	前期比
売上高	5,099	-	6,244	-	+22.4%
営業利益	91	1.8%	103	1.7%	+12.4%
経常利益	86	1.7%	95	1.5%	+9.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	62	1.2%	68	1.1%	+9.8%
1株当たり 当期純利益(円)	22.14	-	24.34	-	+9.9%

※当社は、2025年3月期第4四半期より連結決算に移行しており、2025年3月期は連結数値、2024年3月期は単体数値を記載しております。

※当社は、2025年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

Copyright 2025 BTM, Inc. All Rights Reserved.

12

質問 3

25年 3 月期に実施した子会社の設立とM&Aについて、今後の業績にどの程度の影響を見込んでいますか。

回答 3

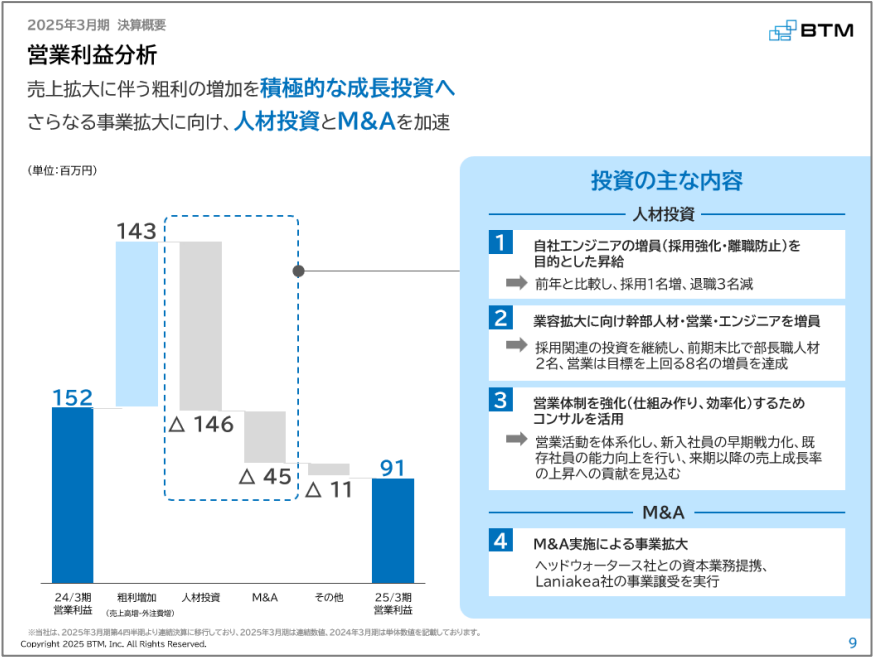
子会社BTMAIZについては、25年 3 月期においては 4 Qのみの連結業績への影響となっていますが、すでにAI関連案件の引き合いも増加しており、26年 3 月期は通期での業績への寄与を見込んでおります。
Laniakea社については、AI領域の技術力強化等を目的にM&Aを実施し、2025年 5 月 1 日付でSES事業を譲受けております。具体的な影響につきましては現在精査中ですが、こちらも26年 3 月期以降、中長期的な事業成長や業績向上に資することを見込んでいます。

質問 4 人材投資とは具体的にどのような内容を予定していますか。

回答 4 人材投資としては、主に以下の3つを重点的に実施していくことを計画しています。

- ①自社エンジニアの増員を目的とした昇給
- ②事業拡大に向けた幹部人材・営業・エンジニアの増員
- ③営業体制を強化するためのコンサルの活用

特に、営業人員については、25年3月期に計画を上回る増員を達成できたことが安定した売上成長に繋がっていると考えており、26年3月期も引き続き営業人員の増員に努めるほか、25年3月期に未達だった自社エンジニアの増員計画についても達成を目指し、投資を継続してまいります。



質問 5 株式分割実施の理由について教えてください。

回答 5 当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げること、当社株式に投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と、当社の経営理念や今後の成長戦略に共感いただける投資家層の更なる拡大を図ることを目的として実施いたしました。

以上

< 参考資料 >
[2025年3月期 決算説明資料 \(事業計画及び成長可能性に関する事項\)](#)
[株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ](#)
[BTM Laniakea 株式会社の事業を譲り受け、AI 領域の技術力を強化](#)